



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：金融危機による輸出の鈍化 (11月8日付エジプシャン・ガゼット紙)

11月6日にニースで開催された欧州・地中海産業大臣会合でのラシード通産大臣の発言
(概要)

1. 2007-08年度のエジプトの非石油部門の輸出額が149億ドルに達し、これは前年度比約30%の伸びであり、今年度は20-25%の伸びを予想している。勿論、欧州や米国といった主要輸出先における需要の低下や世界的な価格の下落とともに、エジプトの輸出も減少すると予想している。これは今年度だけではなく、来年度も起きるかもしれないが、いずれにせよ現時点では予想は難しい。ここ数年急成長を遂げている建築資材や化学製品の輸出が低下することを危惧している。
2. これまでの処、エジプトの金融部門は世界的金融危機から限定的な影響を受けるに止まっている。但し、経済状況となると、エジプトはこれまでと同じ様に好調な立場にいることは難しいと理解している。
3. 我々は、輸出・観光・スエズ運河収入に影響があると見ており、総じて外国直接投資の誘致は以前よりも難しくなるであろう。しかし、政府では今年度の成長率が約6%になると予想している。
4. 今回の会合に出席した各国閣僚は、エネルギー及び海運を含む合同プロジェクトに対する資金供給について話し合う会合を1月にカイロで開催することを合意した。